

トピック

- 極東開発省、第3回東方経済フォーラムのビジネスプログラムへの提言を募集中
- 極東土地付与プログラムの参加者向けに優遇ローンとして60億ルーブル
- 極東では2件の新規先行発展領域を開設



東方経済フォーラム関連ニュース

2017年2月21日 イズベスチヤ紙

トルトネフ副首相「東方経済フォーラムごとにより中身の濃い、面白いものに」

ロシアのユーリ・トルトネフ副首相は、第1回フォーラムによって極東の情報空間の公開が行われたと主張。次に第2回フォーラムの場では当地方で実現済みの投資プロジェクトの紹介が行われ、先行発展領域が示されたという。

「第3回フォーラムとしては、プロジェクトのリーダーたちに直接発言してもらいたい。年末までに70件以上の新規工場が建設される。その代表から、先行発展領域制度で得をしたかどうか、ガスパイプラインや道路、電線の建設が間に合ったか、という具体的な話をいただきたい。既に実現したプロジェクトほど、アピール力のあるものはない。こちらの約束だけでは、その代わりなどできない。これからは、極東で1人1ヘクタールの土地を与えられた人たちからも話をぜひ聞きたい」と副首相。

<http://izvestia.ru/news/666236>

2017年2月20日 RIAノーボスチ

イランが東方経済フォーラム参加に意欲

ロシア連邦大統領のアントン・コビャコフ顧問が、在ロシア・イラン大使メフディ・サナイ氏と会談し、今年ロシア連邦内で開かれる諸行事へのイランの参加の可能性が取り上げられた。サンクト・ペテルブルグ国際経済フォーラムのビジネスプログラムの枠内で、ロシア・イランのビジネス対話をテーマとしたラウンドテーブルを開催し、政業界に加え有識者の参加を目指すを確認。大使側からは2017年の東方経済フォーラム参加への意欲も示された。

<https://ria.ru/economy/20170220/1488353498.html>

2017年2月3日 ロシア連邦極東開発省

極東開発省、第3回東方経済フォーラムのビジネスプログラムへの提言を募集中

東方経済フォーラムのウェブサイトでは、2017年9月6～7日ウラジオストクで開催される第3回東方経済フォーラムのビジネスプログラム内容及びその行事の開催についての提言・申し込みの受付が行われる。このようにして本フォーラムの主なアジェンダづくりへの国内外の業界や地域ビジネス、産業団体や社会団体の参加が促されている。

「フォーラムはこの拡大地域の発展へのツールだ。業界、社会、有識者の意見を是非聞き入れたい。我々は新たな提案に開かれている」とガルーシカ極東開発大臣。

http://minvr.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4999

ロシア極東での国策

2017年2月17日 Lenta.ru

1人に1ヘクタール付与プログラムの参加者が優遇ローン入手へ

極東開発基金から、本プロジェクトに60億ルーブルを向ける。ローンは現金化されず、土地開発関連事業に直接向けられるという。

本プログラムの中で土地の付与を受けた者は優遇利率8～10%でローンを組み、別荘用の家、小型農機、温室など、土地開発用品の取得にのみ向けられる。パイロットプロジェクトとしての運用が早くも今年の春に開始される。

<https://lenta.ru/news/2017/02/17/foreast>

2017年2月13日 EastRussia

レオニード・ペテウホーフが極東投資誘致局長官に任命

極東投資誘致・輸出支援局は輸出支援、先行発展領域やウラジオストク自由港への新規入居者誘致、並びに極東でのプロジェクトへの直接投資誘致を目的に2015年、開設された。その任務は、全投資家によるプロジェクトを最短期間内に実現可能にすることにある。

今回任命されるまで、ペテウホーフ氏はロシア内外の企業のトップを務めてきており、採掘や冶金、農業を中心に経営コンサルティング、直接投資誘致関連活動の経験を持っている。

<http://www.eastrussia.ru/news/novym-generalnym-direktorom-agentstva-dalnego-vostoka-po-privlecheniyu-investitsiy-i-podderzhke-eksp>

2017年2月7日 RIAノーボスチ

日本にはクリル諸島におけるロシアとの共同経済活動に関する協議会が創設

世耕弘成経済産業大臣（対口経済協力担当）を長に頂く新たな協議会は、経済産業省を初め日本の省庁の代表から構成される。初回会合では、南クリルでの漁業、海産物捕獲や観光に関する問題が検討された。 <https://ria.ru/world/20170207/1487313993.html>

ロシア極東地域の経済状況

2017年2月27日 ヴェドモスチ紙

ロスアグロ社、極東での牛乳加工事業に10億ドル投入へ

ロスアグロ社は沿海地方の乳酪品工場の建設に向けた投資を実施する。ロスアグロ・グループのV・モシュコビチ取締役会会長によれば日中韓を初めアジア太平洋地域への輸出力が大きい。「隣国の中国だけでも1年に2千万トンの牛乳が不足している。その生産の観点から沿海地方の潜在能力は無限とってよい」と語った。

<http://www.vedomosti.ru/business/news/2017/02/27/679112-rusagro-moloka>

2017年2月20日 RIAノーボスチ

極東には2件の新たな先行発展領域の創設へ

その先行発展領域創設は、極東・バイカル地方における投資プロジェクトの実施問題に関する政府小委員会（トルトネフ副首相が委員長）によって決定されたもの。

「ネフテヒミーチェスキー」先行発展領域（沿海地方）では、ロスネフチ社がヴォストチニー石油化学複合施設を建立する。いま一つの「スヴォボドネンスカヤ」（アムール州）では、2件の大工場が造られる。具体的にはガスプロムからアムールガス加工工場、シブール・ホールディングとしてはアムールガス化学コンビナートの設立を表明している。2件の事業への投資額は17億ルーブルとされ、7500人分の新規雇用が期待される。

<https://ria.ru/economy/20170220/1488387008.html>

極東発展を目指すの新しい装置——成功の実例

2017年2月9日 InterFAX

極東では1兆3790億ルーブル相当の500件の投資事業が開始されている

実施済み投資のこの総額のうち、1兆2850億ルーブルと大部分を民間投資が占める。「その数字は新たな工場、新しいインフラ、採掘業・加工業で2025年までを実施期間とする事業を意味する。新しい投資は、拡大地域の経済構造の多様化につながる。73%の新規事業は加工業や物流、農業、観光など、採掘部門とは無関係なもの」とA・ガルーシカ極東開発大臣が語る。

2016年、極東の新規発展制度の中で、25件の新規事業がスタート。2017年ではその数は50件を超え、ここから3年間で280件強に達し、3万4千もの新しい職場づくりとなる。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=806569>